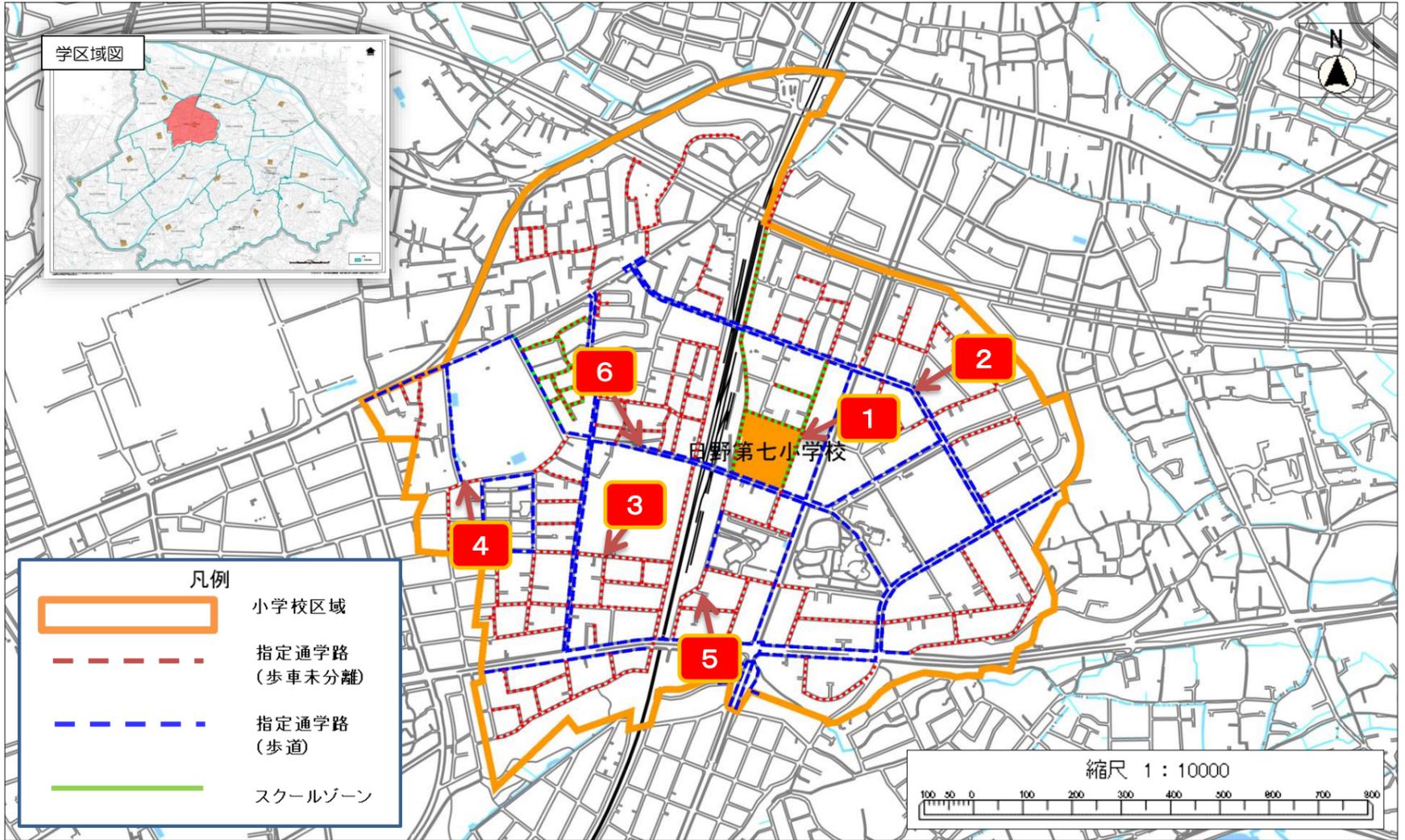


日野市立日野第七小学校 通学路の危険箇所図



1 神明三丁目2番地先
小学校北側道路

【現状】
路側帯の白線が消えかかっていて、歩行時に広がってしまう。スクールゾーンではあるが、居住者の車両通行もあることから、危険を回避できるようにしたい。

【対策メニュー】

- ・道路標示の引き直しを8月に実施済みです。
- ・掠れている既設路側線の補修を検討します。

2 神明四丁目24番地先
T字路

【現状】
車両が一時停止線に停車しても左側の宅地の壁面により、十分な確認が難しいことが予想される。

【対策メニュー】

- ・現状、路面状況が悪いため、道路補修時期に合わせて交通管理者と協議調整をはかります。
- ・注意喚起看板の設置を検討します。

3 多摩平七丁目26番地先
大学南側バス通り

【現状】
白線が消えていて車両と歩行者の通行帯の区別が不鮮明。片側にガードパイプが一部あり、路側帯があるが、大学側にある白線はほぼ消えている状態。

【対策メニュー】
掠れている既設路側線の補修を検討します。住宅側(左側)の電柱はNTT柱で、あらたに文看板を設置することはできません。また対車両についての注意喚起は、一方通行道路のため右側の表示のほうが効果が高いと考えられます。

4 大坂上四丁目16番地先
都立高校南側道路

【現状】
カーブミラーが設置されているが、乗用車の運転席からは高校側の壁しか見えない角度になっている。反対側に人が歩いているところの確認できず危険。

【対策メニュー】
カーブミラーは、歩行者を確認するためのものではなく、車両同士の安全確認のために設置しています。当カーブミラーについては、車両の確認を主として、適切な角度に調整しました。

5 神明二丁目7番地先
クランクのカーブ

【現状】
クランクカーブで車両からの歩行者や対向車が確認しにくく、スピードを出している車両も通るため危険である。

【対策メニュー】
カーブミラーや標識の支柱は電柱に比べて細いため、看板の設置は困難となります。減速標示の設置を検討します。

6 大坂上三丁目3番地先
歩道

【現状】
ガードレールがあるため歩道が狭く、ガードレール車道側をはみ出して歩く児童も見られる。

【対策メニュー】
歩道の拡幅については、一方通行の交通規制の今後の考え方を整理する必要がある為、中長期的な課題とさせていただきます。